

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	東海大学	整理番号	1-2-063
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	地域医療と医学教育の連携 －“良医”の育成		
申請単位	学部単位		
申請担当者	堀田 知光		
<p>(取組の概要)</p> <p>東海大学では「明日をになう強い使命感と豊かな人間性を持つ人材の育成」を教育理念の一つとしている。その意味で、医学部においては「専門的名医であるまえに、あらゆる病気や症状に人間的に対応できる“良医”を育成する」ことを教育目標とし、まず全国に先駆けて教育計画部（室）を設置し、このテーマに組織的に取組んで来た。その内容は、高度の専門性に特徴のある大学付属病院に加え、まだ診断のついていない段階での患者に接する機会の多い学外病院・地域医師会診療所での臨床実習（高学年、平成 5 年開始）、あるいは病院外医療としての福祉施設での実習（低学年、平成 10 年開始）等を積極的に取り入れた一連の教育カリキュラムである。医学教育で重要視されるクリニカル・クラークシップ、PBL（問題解決型学習）、チューター制の要素をすべて満たし、かつ教育計画部が FD 活動も含めて、教育全般を統括的に指導する体制が出来ている点が特徴である。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、東海大学医学部の教育目標を達成するために、1989年に全国に先駆けて教育計画室を設置して、既に10年以上にわたって継続的に実施されている一貫性のある組織的取組です。この取組によるカリキュラムの内容は、①1年生を対象とした話し方のプロによる講義、②2年生を対象とした学外福祉施設での1週間の研修、③5・6年生を対象とした学外での診療参加型実習、④6年生を対象とした海外実習を含む選択科目、などです。これらについては、一部の他大学でも類似の取組がありますが、教育計画室の主導のもとに、それぞれに対して委員会を設置し検討すると同時に、教員対象の組織的・大規模な海外派遣を含むFD (Faculty Development) の強力な支援で、着実に実施している点は他大学の参考になり得る優れた事例です。</p> <p>この取組の有効性についての自己評価がやや不十分という課題も認められますが、これを克服すれば更なる発展が期待されます。</p>			